

平成 26 年 5 月 30 日

各 位

会社名 株式会社ウェッジホールディングス  
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 此下 竜矢  
(コード 2388 東証 J A S D A Q 市場)  
問合せ先 執行役員 横山 幸弘  
(TEL 03 - 6225 - 2207)

### クーデターがGLの基盤に好影響をもたらす

当社の連結子会社で東南アジアにおいてファイナンス事業を展開する Group Lease PCL. (以下、G L) は、英語でニュースリリースを発表しております。下記に日本語にてご紹介いたします。

記

#### 【GL プレスリリース : Coup Has Changed GL Fundamentals for the Better より】

先週クーデターによって、農民への米担保融資金の支払いのような景気対策が行われて、地方経済を活性化させつつあります。このことにより SET 上場のリース会社であるリース会社 Group Lease Public Company Limited (以下 G L) の事業環境が好転しました。

軍部による政権奪取は状況を好転させる転機となるとしたうえで、G L 会長兼最高経営責任者である此下益司は「成果が出るまで約 2 ヶ月の時間差が発生する。つまり今年の第 3 と第 4 四半期に大幅な改善が見られるということだ。」と述べました。

この事業環境の好転により 2014 年の通年業績を全体的に押し上げられるだろう、と此下会長は述べました。それに加え、既に今年 3 月に損益分岐点に達した、隣国カンボジアで急成長中のオートバイリース事業も、今年から連結業績に大きく貢献するだろう、とも述べました。

政変の前、景気減速にもかかわらず、G L はタイ国内において売上を拡大しました。「他の会社の成長が停止、あるいは縮小しているときに、我々は不景気の中でも成長をし続けてきたということから、(政治と経済が) 正常に戻れば、最大利益を生み出す可能性がある。」と此下会長が述べました。

当社のリース収入が第 1 四半期において約 30% 伸び、今四半期も同じペースで成長しています。現在地方経済は再活性化に向かい、長期に渡って米担保融資が支払遅延されていたが、支払いされることになって農村の収入が増加し、G L の第 3 と第 4 四半期の売上高が 40% 増と見込まれています。

売上の拡大には、それなりの費用も発生するものの「それでも利益は後から追いつく」と此下会長が説明しました。

経済減速によって顧客の支払が延滞したために、貸倒引当金が増大したために、G Lの第1四半期の純利益は前年同期の90.63百万パーツから10.76百万パーツに落ちました。当引当金繰入額は同四半期内で60.82百万パーツから120.98百万パーツに増えています。

G L社は、市況が正常化された後には、第1四半期の貸倒引当金繰入の大部分は利益に戻る可能性があり、災い転じて福となす可能性があると考えています。当社全体の事業環境が好転した今、それは今年の第3および第4四半期に起こる可能性が高いと思われます。

以 上

※ニュースリリースの原文はG L社ウェブサイト

(<http://gl.listedcompany.com/news.html/id/410415>) でご確認いただけます。